



みなみ 園だより 7がつ

令和7年7月1日
目黒区立南保育園園長

0歳児クラスの子どもたちは園内の探索も大好きです。1階に下りてくるとまずはめだかとザリガニに挨拶。かわいい挨拶が終わると幼児クラスからにぎやかな声が聞こえてくるので、あっちにもこっちにも引き寄せられるように向かっていきます。大人には顔見知りする子どもたちも、お兄さんお姉さんたちには自分から近寄って行きます。「ちいさいね」「かわいいね」とたくさんかわいがってもらい、また隣のクラスへと向かっていきます。安心できる人の存在があることで子どもたちは自分の居場所を広げていきます。人や物との新しい発見や出会いを通して一段と成長していることを嬉しく思います。

水遊び、プール遊びが始まりました。5歳児クラスの子どもたちは一人一人が目標を立てました。自分の目標に近づけるよう毎日楽しみながら一步一步挑戦して欲しいです。一人一人の興味を持っていることを伸ばしていけるよう活動を計画し、暑い夏を元気に過ごしていきます。



今月の行事予定

七夕集会 幼児クラス
身体測定、避難訓練 全クラス

子どものつぶやき (5歳児クラス)

給食でさわらが出た時のこと。
保「さて、今日のおかずの魚の名前、わかるかな」
子「知ってる、さばらでしょ」
さばとさわらと合体です。
保「おいしい」



みまみまつりの様子

先月19日にみなみまつりを開催しました。今年は映画館、ボール投げ、お面作り、ヨーヨーすくい、盆踊りのコーナーがあり、幼児クラスや2歳児クラスの子どもたちが楽しみました。

「ボール投げはおばけの口に向かって投げるんだね。たくさん入れるぞ」「私はリボンのお面にしたの。かわいいでしょ」など子どもたちが楽しんでいる声がたくさん聞かれました。すべてのコーナーを楽しんだ後には「お祭り楽しかったね」と子どもたちの笑顔がたくさん見られました。





今月はホールでの遊びの様子を紹介します。

2歳児クラス・みつばち組

走ることが大好きな子どもたちはいつでも体を動かしたい思いでうずうずしています。雨の日の夕方はよくホールに遊びに行きます。ホールに着くと待ってましたとばかりに走り出します。保育士の言葉かけで走るのではなく、子どもたちの思いのままに走っていきます。そこに音楽をかけるとさらに楽しくて大笑いをしながら走っています。「パタパタ」と走っている姿から「タッタッタ」と足で床を蹴って走れるようになってきました。大好きな「さんぽ」の曲がかかると今度は歩き始めます。一人で歩くだけでなく、友達の手をとって歩いています。手をつなぐことが子どもたち同士の心もつないでいるようで、友達のペースをお互いに意識しながら顔を見合わせ嬉しそうにしています。みなみまつりの前後には幼児クラスに混ざって盆踊りも楽しみました。すっかり盆踊りが大好きになって「ぽんちゃりん」の掛け声も子どもたちの声が揃うほどです。これからも子どもたちの走りたい、体を動かしたいなど「今やりたい」思いを叶えられるようホールでも楽しんでいきます。



幼児クラス

それぞれのクラスでリズムをすることもありますが、活動によっては異年齢でもリズム遊びを行っています。

先日、4、5歳児クラスでリズムをしました。初めに、お母さん座り(正座)でお互いに向き合い「よろしくお願いします」と挨拶をしてからリズム遊びが始まります。まず5歳児クラスが汽車の動きをやって見せてくれます。保育士が「つま先が上がっているね」「手がまっすぐ伸びていて素敵だね」と姿を褒めると、座って見ている4歳児クラスがその姿を見て「本当だ」と呟きながら見入ってます。自分たちの番になると嬉しそうに出てきて同じようにやってみます。保育士が「手もまっすぐ伸びていて上手だよ」と褒めると、褒められていることや今度は見られていることもあり、しっかりつま先を立てて腕も伸ばしています。自分の場所に戻ると少しホッとした表情になり、また5歳児クラスの姿を見えています。自分たちがやったことのない動きも5歳児クラスがやってみせると、また真剣に見ています。「(4歳児クラスも)やってみる？」と聞かれると「やる」と意欲満々です。中には初めてやることにドキドキした表情の子もいますが、一緒にやっている保育士や友達の動きを見ながら参加しています。最後は、また向き合って座り「ありがとうございました」と挨拶をして終わりました。部屋に帰ると「ゾンビ(新しい動き)楽しかったね」と部屋の中でもゾンビをやっていました。

これからも異年齢でもリズムを取り入れながら、やってみたいこと、できることを増やしながら体作りに繋がっていきたいと思います。



ゾンビの動き